

令和4年1月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和4年1月11日（火）10時
- 2 場 所 本館4階 第1委員会室
- 3 出席者 教育長 片平慎一
教育委員 河本直子、衛藤修身、太田かおり
- 4 欠席者 佐野正靖
- 5 事務局 教育部長 船津喜久男
学校教育課長 松永嘉伸
学校指導課長 森 秀輔
教育施設課長 北原鉄也
生涯学習課長 米満孝智
学校指導課課長補佐 掛橋賢議
生涯学習課課長補佐 田代磯政
学校教育課教育総務係長 野中康伸
教育施設課計画係長 山口研治
- 6 傍聴人 7人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

令和4年1月11日（火）10時00分

1 報告事項

- (1) 令和4年1月学校教育行事及び社会教育施設行事について
- (2) 第6回中間市学校施設再編基本計画策定委員会について
- (3) 中間市いじめ問題対策連絡協議会の設置について

2 協議事項

- (1) 令和4年2月定例教育委員会の日程について
- (2) 令和3年度卒業式及び令和4年度入学式出席分担について

3 議決事項

第1号議案

中間市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱について

[開会時刻：10時00分]

船津教育部長	皆さんおはようございます。 進行につきましては、議長であります片平教育長にお願いいたします。
片平教育長	おはようございます。 それでは令和4年1月定例教育委員会を開催いたします。 最初に、令和3年11月臨時教育委員会の議事録の承認及び12月定例教育委員会議事録の承認をお願いします。 よろしいでしょうか。
教育委員	《承認》
片平教育長	承認ということで進めさせていただきます。 それでは報告事項に入ります。 令和4年1月学校教育行事及び社会教育施設行事について説明をお願いします。 最初に学校教育行事を森課長お願いいたします。
森学校指導課長	1月の学校行事についてご説明いたします。 まず共通行事についてです。本日11日、全ての小中学校で始業式が行われました。全小中学校、滞りなく完了しております。明日12日に中学校、13日からは小学校で給食が始まります。20日には、鍛ほめプロジェクト調査研究連絡会議が行われます。こちらは県の事業で、東中、東小、西小の3校での小中連携した学力向上の取組についての調査研究を行って参りました。その会議の最終回で、リーフレットとして作成することになっております。 続いて、各学校の行事です。 まず、各小学校では24日から28日まで給食週間の取組が行われます。また、東小、中間小、西小では28日に授業参観が計画されています。ただし、最近のコロナの感染状況に鑑み、中止も視野に入れて再検討されているところでございます。 それから中学校では、12日に1・2年生の課題テスト、3年生の実力テストが行われます。また、21日には私立高校の推薦・専願入試が行われ、26・27日には県立高校の特色化選抜入試が行われます。

表記が、県立と公立と混在しておりますが、同じものでございます。申し訳ありません。

続いて学校ごとに説明します。底小では、17日から2週間、九州女子大からの養護教諭の教育実習が行われます。事前の感染症対策については十分に健康観察等を行いながら行われるようになっております。それから19日には、県の事業を活用した規範意識講演会が行われます。NPO法人子どもとメディアから講師を招聘し、5年生を対象にスマホ・ネットに関する講演が行われます。また、27日には、市保健センターの事業を活用した、SOSの出し方教室が行われます。

東小では、14日に6年生を対象にした税務署の事業で租税教室が行われます。

中間小では、17日に地震を想定した避難訓練が行われます。これに併せて防災に関する学習が行われます。22日には、5年生のみ土曜授業が組まれております。こちらは、10月にコロナ感染症による2週間の学級閉鎖がございましたので、こちらの授業時数確保のための措置の2回目となります。25日には標準学力調査が行われる予定です。

北小では、17日から小中連携した生活習慣づくりの取組として、早起き週間が行われます。20日には地震を想定した避難訓練が行われます。

南小では、17日に青少年赤十字加盟登録式が行われます。南小は、毎年こちらに登録しており、日本赤十字の理念を踏まえた活動を行っています。

西小では、17日に地震を想定した避難訓練が行われます。

北中では、14日に保護者対象の入学説明会が行われます。また、17日からは北小同様、生活習慣づくりの取組が行われます。また、23日から25日にかけて2年生が修学旅行に行きます。

南中では、16日から18日に修学旅行が計画をされております。また、28日に入学説明会が行われます。

新型コロナウイルスの拡大が、ここ数日で大幅に広がってまいりましたので、また修学旅行の実施についても今後学校と旅行業者も含めて、再検討が必要な分が出るかもしれません。現在のところはそのような状況でございます。

以上が1月の主な行事です。

片平教育長

ただいま1月学校行事が説明されましたが、それにつきましてご意見

ご質問等がございましたらお願いいたします。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

中間小の22日の土曜日授業は、5年生のみが土曜日授業なのかということと、5年生以外の学年については、この日はどうなるのかということについてお尋ねいたします。

もう1つは、南小は毎年青少年赤十字加盟登録式という内容で赤十字に加盟されています。昨年度の説明では、加盟をすれば、いわゆる学校側からすれば、学校ではお願いできないような講師をお願いできるという利点があると聞いておりました。何かそのような利点があったのか教えてください。

それから西小は、交通安全指導ということで14日まで計画されています。これは3学期が始まったので、そのための交通安全指導だと思いますが、内容と他の学校はどのようになっているのかというお尋ねいたします。

最後になりますが、修学旅行についてはまだどうなるか分からないと思います。南中は15日に修学旅行の事前指導というのが入っています。北中は同じように修学旅行に行くのに事前指導という内容の計画がありませんが、この点はどのようになっているのかお尋ねいたします。

片平教育長

ただいま衛藤教育委員から4点の質問ございましたが、これについて森課長お願いいたします。

森学校指導課長

まず1点目、中間小の土曜授業については、先ほど申し上げたように、学級閉鎖に対する措置となりますので、5年生のみが登校を行います。他学年については通常の土曜日ということで休業日となっております。

2点目の南小の青少年赤十字加盟登録式についてですけれども、本年度この事業に係る講師を招聘したという形は取られてはいないそうです。委員会活動とか児童会活動の中で、赤十字が例えば環境問題に関わることであるとか、学校教育の一環として、この赤十字の趣旨に合うものと重ね合わせて実施されています。加盟登録式自体は、毎年必要なものとして行われております。

それから3点目の西小学校の交通安全指導については、教員が各要所に立って立会しながら交通安全指導を行うもので、今朝も行われております。他の小学校でも同様な形で実施されております。今回は表記

しておりませんが、全小学校での実施を確認しております。
それから4点目の、北中の修学旅行の事前指導ですけれども、前日は部活動の大会等で日程が取れなかったために、金曜日に行われるということですので伺っております。以上です。

片平教育長 他にございませんでしょうか。河本教育委員。

河本教育委員 中間小の21日のフォローアップ訪問とありますが、どのようなものなんでしょうか。

片平教育長 森課長。

森学校指導課長 フォローアップ訪問というのは、北九州教育事務所から学校の学力向上の取組について、一緒に協議して、より充実を図っていかうとするものでございます。

河本教育委員 分かりました。それともう1つですが、県立と公立の中学校ですけれども特色化選抜入試というのがありますが、私の子どもの頃にはそのような言い方をしていなかったと思うのですが、これはスポーツ推薦とかそういう事になるのでしょうか。

片平教育長 掛橋課長補佐。

掛橋学校指導課長補佐 推薦入試というものは従来通り2月に行われておりまして、新たな制度としまして推薦は学校長が推薦していく訳ですけれども、特色化選抜につきましては自己推薦的な意味合いを持ちまして、その高校にふさわしい生徒の入学をより一層促進する観点から、生徒の多様な個性を積極的に評価するものが特色化選抜になります。ただし、全校実施ではございません。県教委が指定する数校に限りがありまして、そちらの方で入試の選抜試験を受けるという制度がこの特色化選抜です。

河本教育委員 それは勉強だけではなく、他のことで推薦、自己で出来るということなんでしょうか。そして、また勉学的にも大体どれくらいの偏差値がないと駄目だという規定はあるのでしょうか。

掛橋学校指導 課長補佐	学校によっては評定、3年時の評定を何点以上と条件を定めております。その学校に行きたいという熱意と高校が定める条件が一番大事になってくる制度になっておりまして、三者面談等含めて、その学校に適しているのかどうか相談は事前にしつつ、生徒の気持ちを一番大事にして、各中学校が進路指導にあたっております。
河本教育委員	分かりました。ありがとうございます。
片平教育長	その希望する学校で何ができるのか、何がしたいのかというところが明確にある、そういったところを選考基準にしているようです。新しい入試だということです。
河本教育委員	大学でも、入ってから問題を起こす子が多いという事で、推薦などに力を入れている大学があると聞きますけどそういうことなのでしょうね。その学校で影響を与えてもらえるような人ということなのでしょうね。
片平教育長	それでは、続きまして社会教育施設行事予定に入りたいと思います。米満課長。
米満生涯学習 課長	<p>最初は中央公民館です。</p> <p>1月9日日曜日12時から、なかまハーモニーホールで令和4年中間市成人式を行いました。密にならないよう動線を確保した中で、今年の新成人対象者は、男性167名、女性164名、合計331名中、226名が参加されました。</p> <p>また、市外申込者38名中、34名が参加され、合計260名の参加となっております。総合司会等につきましては、中間北中学校卒業生代表の方にお願ひし、例年同様、目立った混乱もなく式典を開催しております。</p> <p>次に体育文化センターです。</p> <p>1月29日土曜日、体育文化センターでドッジビー大会を行います。対象者は、中間市スポーツ少年団の20団体で、1チーム10名で競います。参加料は無料となっております。</p> <p>続きまして図書館です。</p> <p>1月5日から「本との出会い・運だめし」ということで、図書館がテーマごとに選んだ本3冊が入った「図書館福袋」を貸出します。1月10</p>

日までとなっております。

最後にハーモニーホールです。

1月23日日曜日14時から大ホールで「12本の弦の響き・クラシックギター・デュオの世界」が開演されます。出演者はギターリストの大萩康司さんと鈴木大介さんです。入場料は1500円となっております。以上です。

片平教育長

ただいま社会教育施設行事の説明がございましたが、ご意見ご質問がございましたらお願いいたします。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

成人式お疲れ様でございました。大変素晴らしい成人式に参加させていただきありがとうございました。

まず、1月20日に「きらめき大学」と「りふればーく」がどちらも最終回で、今回は一緒にされるという計画となっております。これまでの内容からすると、「きらめき大学」と「りふればーく」の内容は、それぞれ特色があって違うような感じを受けているのですが、何で一緒にされるのかということをお尋ねいたします。

片平教育長

米満課長。

米満生涯学習課長

「きらめき大学」と「りふればーく」の事業計画の中で、事業の内容が共通する部分、ピアノ演奏があります。そのため最終日に同時期にすることといたしました。3年前にも同様に行っております。

衛藤教育委員

今度はピアノ演奏ということで同時なのですが、そうすると「きらめき大学」も「りふればーく」も最終回ということになります。来年度の事業に向けて参加者等の感想や、あるいは来年度に向けて意見要望等があるのか、そのような意見をどこで吸い上げられて、どこで整理をされるのかお尋ねしたいと思います。

片平教育長

米満課長。

米満生涯学習課長

まず来年度につきましては、いま事業計画をかけている段階であります。これは受講生も参加型ですので、全ての講座でアンケートを取っていないのですけれども、「りふればーく」の中でも「楽しかった」、「また来年も是非よろしくお願ひします」という感想は聞いておりま

	す。
衛藤教育委員	そうすると、その感想はこの回で取られるわけではなく、その都度取られているということでしょうか。
片平教育長	米満課長。
米満生涯学習課長	受講を終えられた後に回収も行っていますし、受講生の雑談等の中でそのような声を聞いております。
衛藤教育委員	私の近所の町内に住んでいる方たちの中には、「来年は中央公民館ができる」というような受け止め方をされている方がいました。様々な新しい講座、あるいは今までの講座が充実される形のもので出来るとのではないかと期待をされているようでしたので、質問させていただきました。 次は図書館の福袋についてです。福袋がどの程度用意されているのかわかりませんが、早い者勝ちという印象を持っています。どうしても福袋を貰いたい、貸し出していただきたいと思う方がいた場合に、商業的な福袋の配布では、整理券配布という形で整理券を持っている人には福袋を保証するというやり方もされていますが、この図書館の福袋については、どのように対応されているのでしょうか。
片平教育長	米満課長。
米満生涯学習課長	この図書館の福袋の中身につきましては、お楽しみということで、図書館員が3冊選択しております。数につきましては、大人用60個、子ども用40個を準備し、不足する場合は、臨機応変に対応するように指導しております。
衛藤教育委員	分かりました。福袋についての市民への案内はどのようにされているのでしょうか。
片平教育長	米満課長。
米満生涯学習課長	ホームページと広報なかまに掲載しております。

片平教育長	これはニュースでも取り上げられました。福袋の中にどのような本が入っているのか、タイトルがその福袋に書いてあります。例えば、「よりよく生きるためには」や「恋愛について」などです。それを市民の方が自分で選んで借りていくというものです。 他によろしいでしょうか。太田教育委員。
太田教育委員	9日の成人式に参加させていただきましたが、本当に素晴らしかったです。そして、今回の司会の方、それからメッセージを述べられた方が素晴らしかったです。出身校が北中の方に少し偏っているのかなと感じましたが、どのように決めているのでしょうか。
片平教育長	各学校輪番となっています。
太田教育委員	毎年学校を変えているのですね。ちょっと存じ上げなかったものから、様々な学校があった方が良いのではないかと思いましたが、お尋ねいたしました。 もう1点質問があります。今年の4月から18歳が成人ということになるかと思うのですが、中間市は引き続き20歳で成人式を来年以降も行うのでしょうか。
片平教育長	来年以降も20歳の時に節目として成人式を行います。
米満生涯学習課長	20歳ということで、その理由等もホームページに載せております。1つは、受験等のことも考慮し、20歳で成人式をさせていただいております。
太田教育委員	分かりました。
片平教育長	他はよろしいでしょうか。河本教育委員。
河本教育委員	成人式おつかれさまでした。成人式に市外から34名出席ということですが、それは県外の大学に行っているとか、そういうことなのでしょう。それとも、中間市の成人式に来たいということでしょうか。

片平教育長	米満課長。
米満生涯学習課長	当然中間市の中学校を卒業して、いま市外におられる方、住民票を市外に移されている方も申し込みは受け付けています。
河本教育委員	<p>そうなのですね。私が成人式の時知らなかったものですから、こうして出席できることは良いと思いました。スペースワールドがあった時はスペースワールドに行きたいからということで、中間市から北九州市の成人式に参加していたりしました。逆に中間市に呼び込めたら良いのかなと思ってお聞きしました。</p> <p>それともう1つですが、ハーモニーホールで今度ギターのコンサートが23日にあるようですけれども、コロナ禍ということでチケットの売れ行きはどののでしょうか。</p>
片平教育長	米満課長。
米満生涯学習課長	740席前後確保しておりますので、密にならない程度と聞いております。
片平教育長	<p>他はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、第6回中間市学校施設再編基本計画策定委員会について、北原課長説明をお願いします。</p>
北原教育施設課長	<p>それでは、教育施設課から報告させていただきます。</p> <p>第6回中間市学校施設再編基本計画策定委員会は、令和3年12月21日16時から市役所別館3階特別会議室において、全委員13名の委員のご出席のもと、次第に沿って会議を進行いたしました。それでは、今回の議題でございます「将来の学校のあり方」につきまして、ご説明いたします。</p> <p>第6回策定委員会では、地域の実情に適した将来にわたって持続可能な学校規模につきまして、まず、第5回策定委員会でのご意見を整理した上で、委員の皆さまにご意見をいただきました。</p> <p>第6回策定委員会の検討事項といたしまして、学校規模のメリット・デメリット、建設費用や維持管理費を整理し、将来にわたって持続可能な学校規模を検討すること、学校再編のスケジュール案の検討に際し、中学校を先行した学校再編を行うことを想定したスケ</p>

ジュール案を加えて検討すること、この2点について、協議を行いました。

資料の中で、小学校、中学校の教職員、そしてPTA 連合会会長会や各小中学校 PTA 理事会での学校再編の取組みや将来の学校のあり方として規模の大きくない学校とある程度規模のある学校に関するご意見を整理しております。

今回、学校規模を検討する案といたしまして、これまでの策定委員会でのご意見を踏まえますと、小学校は現行の6校を1校から4校に、中学校は現行の4校を1校から3校にする案が考えられます。第6回策定委員会では、改めて、国の標準学級、児童生徒数の推移、教員アンケートの結果、将来の学校数からみた学校規模や建設費用、維持管理費、大規模校や小規模校のメリット・デメリットを整理し、将来の学校のあり方として、小中学校の組み合わせ案をご説明いたしました。

将来の学校のあり方といたしまして、これまでの策定委員会や教職員、PTA 理事会でいただきましたご意見を整理しております。ご意見をまとめますと、限りある財源を子供たちの学び、生活を支えるハード面とソフト面に集中させ、寄り添った教育ができる環境の中で、教育の質の向上を図ることができる将来にわたって持続可能な学級数を確保できる学校規模が、将来の学校のあり方として望ましいと考えております。

地域の実情に適した将来にわたって持続可能な学校規模の方向性といたしまして、小学校は1校から3校が望ましいこと、4校につきましては、きめ細やかな指導ができますが、1学年が2学級以下となり、将来にわたって持続可能な学校規模を確保することができないことから対象から除外していることを説明いたしました。

中学校につきましては、1校から2校が望ましいこと、3校につきましては、生徒に寄り添った教育はできますが、3学級を確保できない学年があり、将来にわたって持続可能な学級数を確保できないことから対象から除外していることを説明いたしました。

このことから、将来にわたって持続可能な学校規模の組み合わせ案といたしまして、5つの案を今回、お示しいたしました。

組み合わせ案といたしましては、まず、① 小学校1校、中学校1校の案、② 小学校2校、中学校1校の案、③ 小学校3校、中学校1校の案、④ 小学校2校、中学校2校の案、⑤ 小学校3校、中学校2校の5つの案がこれまでのご意見から将来にわたって持続可能な

学級数を確保できる学校規模であること、今後の学校規模の決定にあたりましては、学校配置や学校再編スケジュールなど諸事情を考慮の上、総合的に検討していくことを説明いたしました。

学校再編による目指すべき未来の学校の方向性をお示ししております。今回の学校再編の取組にあたりましては、学校施設の充実だけでなく、学校全体として教員が適切に配置される教育環境の充実等を目指してまいりたいと考えております。

学校再編スケジュールにつきましては、①小中学校同時期と中学校を先行した再編、この2つを念頭に検討いたしまして、②学校規模と学校配置が決定した翌年から4年後の開校を想定し、③今後の進捗状況により、適時見直しを行いながら検討していくこととしております。今回、現在の進捗状況からこれまで目標としておりました令和7年度の開校を見直し、これまでの検討内容を踏まえたスケジュール案をお示しいたしました。

まず、小学校と中学校を同時に開校するスケジュール案といたしまして、令和4年度に学校配置を含めた学校施設整備方針が決定されることを前提に、令和9年4月の新小中学校の開校を目標とすること、中学校を先行して開校する再編スケジュール案につきましては、まず、令和9年4月に新中学校を開校し、3年後の令和12年4月に新小学校を開校することを目標に改めたことをご説明いたしました。

委員の皆さまからは、それぞれの立場から、将来の学校のあり方として、学校規模の案をご意見としていただき、中学校については、今回ご説明した学校規模以外の学校数として中学校3校への再編が良いというご発言もありました。事務局といたしましては、それぞれの委員からのご意見を総合的に考え、将来にわたって持続可能な学級数を確保できる学校規模という視点を第一に考えた上で、こちらの「中間市学校施設再編基本計画（案）」を次回の策定委員会までに取りまとめていきたいと考えております。

そして、第7回策定委員会につきましては、現時点におきましては、1月31日に開催したいことをご説明いたしました。

以上につきまして、第6回策定委員会の議事内容でございます。

片平教育長

ただいま北原課長から説明がございましたが、それについて質問等はないでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員	<p>まず1つは、第5回の検討委員会の議事録を読ませていただきまして、今回はより具体的な内容が論議をされたのですが、内容としては、中学校1校に再編する考え方と、もう1つは中学校3校に再編するという考え方の2つの意見がでていていると思います。5回目ですから6回目につきましては中学校1校の考え方と、中学校3校の考え方のメリット・デメリット、これが1番大事になるだろうと思います。この点について、私はおそらく意見交換がなされていると思いますが、6回目以降について、検討委員会の意見がこのようになっていますので、その部分を是非意見交換なり論議をしてほしいというのが1つ要望です。</p> <p>それから質問ですが、将来の小学校のあり方ということで、意見がまとめてあります。それぞれの意見をこのようにまとめられたことについてお尋ねいたします。また、2つの意見について検討委員会の中で、これについてはお互いにきちんと理解があったのかどうかお尋ねします。</p>
片平教育長	<p>ただいま質問がございましたが、それについて北原課長。</p>
北原教育施設課長	<p>ご要望につきましては、これを当然踏まえて次回の第7回に向けて進めてまいりたいと思います。</p> <p>将来の小学校のあり方ということで、これにつきましてはそれぞれのご意見を事務局として、学校規模の視点から整理させていただきました。当然、策定委員会でも説明させていただきましたので、ご理解いただいているものと考えております。以上です。</p>
衛藤教育委員	<p>分かりました。</p> <p>それから、学校再編の取組や将来のあり方についてということで、これも今度は違った形で財源の問題とか、子ども達の問題とか、そのような視点からまとめられております。これにつきましても第5回の検討委員会の中では、この意見はあまり出ていないようです。これも検討委員会の中できちんと確認をされた内容なのかどうかについてお尋ねいたします。</p>
北原教育施設課長	<p>衛藤教育委員がおっしゃったとおりでございまして、これにつきましても、先ほど同様、第6回検討委員会の中でご説明させていただきます。</p>

衛藤教育委員	あと2つほど質問があります。将来にわたってと書かれています が、この内容を読むと、将来という考え方が2040年を目途にと 考えてある部分と、もう1つは2060年を目途にと考えてある部 分と2通りあるようですが、この将来にわたってというのは、どち らになるのでしょうか。
北原教育施設 課長	まずは2040年を見据えています。再編して間もない期間の中で、 再度再編という議論にならないように検討していきたいと考えてお りますので、2040年を目途としております。
衛藤教育委員	2040年を目途にされているということですね。それに関係する 事なのですが、最終的に学校規模の決定にあたっては、将来にわた って持続可能な学級数を確保できる学級規模ということ念頭に、 国の指標にとらわれないという、中間市の独自性を出してありま す。これは、私は素晴らしいことだと思います。学校を建てる時 には、必ず国からは補助金等についての支援を受けるだろうと思 います。もし、指標にとらわれなければ国の補助金に制限が加えら れることになるのではないかと尋ねます。それから、地域の実情に 適した学校規模を基に再編したいということですが、これも大事な ことですが、この地域の実情というのはどのようなことを指されて いるのかということをお尋ねいたします。
北原教育施設 課長	この地域の実情に関しては、当然学校区ごと、地域ごとに様々な歴 史や文化がございますので、そういったことを大切にしながら、踏 まえながら検討していかなければいけないと考えております。併せ まして、例えば国の指標として通学距離も定められております。小 学校だったら徒歩で概ね4km、中学校だったら6km。ただ、そ れも中間市の道路、交通実情に応じてそういったことも勘案しなが ら再編を考えていくべきだろうということでございます。確保でき る学校規模、これは大切なことだと思います。しかしながらとい うところも当然出てくると思いますので、そういったことを総体的 に検討しながら進めていきたいと思っております。補助金につきま しては、現時点におきましては、影響はないと考えておりますが、実 際に設計に入っていくときは、当然活用できる補助金、逆に言えば 補助金を活用できないのであれば、そういった事情を考慮しながら

考えていかなければならないと思っております。

衛藤教育委員

まだはっきり分からない部分があるということですね。私達がこの問題が出た時に、いわゆる令和7年度開校ということで、令和7年度に開校するという事は、市民の間でもその時期に開校するんだということで話を聞く場合があります。計画が2年間程延長するということですが、内容を確認いたしますと、例えば第5回の検討委員会の中で、これから小学校に行く幼稚園や保育園に行っている子ども達の親に対しても、教育長や部長のアドバイスがあつて説明を下さいということが書かれています。保護者等に対する説明をより続けていくことも、これからまだ時間が必要となることも含めて、それからもう1つは、いまコロナの関係でなかなか会議が出来ないということもあつて、私は開校を2年ほど遅らせたのではないかと思いますそのような考え方でよろしいでしょうか。

北原教育施設
課長

スケジュールにつきましては、当初は令和2年度中にこの学校施設再編基本計画を取りまとめる予定で策定委員会を設置させていただきました。しかしながら、コロナの影響によりまして令和2年度は1度しか開催することが出来ませんでした。そして、令和3年度になり2ヶ月に1回のペースで策定委員会を開催しております。この間に様々な検討を行う中で、学校規模と学校配置を分けて検討することになったことや、近隣市町の学校建設のスケジュール等を精査したことなどから、これまでもお示しさせていただきました令和7年4月の開校目標を見直したところであります。

衛藤教育委員

最後に要望と意見ですが、1番最後のスケジュール表ですが、明確に今後のスケジュールが整理されていますが、令和4年度は何をするということが具体的に整理されていないのではないかと思います。令和4年度については何をされるのか、もう少し具体的なものを提示していただければ有難いと思いますのでお願いいたします。

片平教育長

他はよろしいでしょうか。河本教育委員。

河本教育委員

これは私の個人的な意見なのですが、この学校再編にあつて、子ども達が行きたい学校、先生達が勤めたい学校、保護者が行かせたい学校をつくりたいと書いてありました。私が思うのは、やはり

まず先生達が勤めたい学校をつくらない限り、子ども達も行きたくなくなるのではないかと思います。私が小学校の時に覚えているのですが、ため息をつきながら楽しくなさそうに授業をされる先生がいらっしやいました。それを見てこの先生は私達の授業をしても楽しくないんだと、小学校の子どもながらに思いました。あまり楽しいと思って聞いてないからやはり授業の内容が頭に入らなかったことがあります。だから、まず先生が楽しい、行きたい学校にすると、子ども達も授業そのものが必ず楽しくなってくると思います。そして、子ども達が楽しくなると親が行かせたくなる。そのような観点から、私は学校の規模とかは先生達の意見が非常に重要になってくるのではないかと思います。特に中間市は今学力が上がっておりますし、その学力を上げるにあたって、子ども達1人1人を大切にしてきたということが先生達の意見の中にありました。上がってきた学力を落とさないようにしていただきたいです。財政面の問題は非常に心配でありますけど、それを考えすぎるあまりに中途半端なものをつくって、結局何もならなかったのでは本当に意味がないと思います。逆にある程度のもをつくって、他の市から中間市に行きたいと思うような本当に良い学校をつくっていただきたいと思います。

片平教育長

太田教育委員。

太田教育委員

私も河本教育委員と同じ意見でして、しっかりと準備が出来てから開校に向けるというこの2年間延期というスケジュールは非常に正しいのではないかと思います。コロナの影響が大きかったので、十分議論が尽くせてない面が多々あるかと思えます。やはり皆さんで考えて納得のいく学校をつくっていただきたいと思えます。

学校再編のスケジュール案では、令和5年度に基本設計、小中校実施設計がございます。やはりこの学校づくりというのは、未来のある非常に夢のある事業だと思います。中間市の未来を語る意味でもすごく素晴らしい事業だと思いますし、何か未来の学校にふさわしい施設であったり、それから校舎のデザインであったりというところがやはりアピールポイントとして出るような箱ものということだけではなく、素敵な校舎、子ども達が学びやすい校舎になれば良いと思っています。間取りの設計も例えばコンペをやるとかそういった形で広く設計を募集したりすると非常に良いのではないかと個人的には思っています。

それから1つお尋ねなのですけれども、中学校を先行した再編スケジュール案ということで、これ何か私の理解不足かもしれないのですが、小学校を先に開校してそこで学ぶ子が中学校で学ぶというようなイメージがあったのですけれども、中学校が先行して開校するというのを、もしよろしかったらご教示いただけますでしょうか。

片平教育長

北原課長。

北原教育施設
課長

これは委員さんやPTA理事さんから話をいろいろいただいたことなのですけれども、やはり中学校の現状が切実です。1つは中学校を卒業して高校、社会人、大学等に進んでいく中で、競争力あるいは部活動の充実など考えたときに、学校によっては学年に1クラスしかない学校もございます。そういった面でも、中学校を先行するという取組が必要ではないかという意見をいただき、私共も確かにそう思いました。実際競争力という面では、ある学校で例えば学年50人での5番と学年200人での5番ではやはり違うと思うし、子ども達も少し勘違いしたりする部分もあるということで、大人数の中で切磋琢磨しあいながら、そして様々な人と出会いながら学校生活、人生を歩んでいってほしいというご意見や訴えが多かったものですから、中学校先行ということを示させていただいております。

太田教育委員

分かりました。ありがとうございます。

片平教育長

老朽化の関係もございます。
他はよろしいでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

最後になりますが、パブリックコメントの実施や教育委員会、市長部局、市議会への報告は、基本計画案として令和4年2月から3月にかけて行い、そして報告後は速やかに公表するということですが、私達教育委員は、その会議の都度、どのような内容でどのように進んでいるという話を聞きますので分かります。市長部局や市議会への報告については、特に市議会につきましては、本日市議会議員さんが沢山お見えになっておりますので、大変興味関心、もちろん今後の中間市のまちづくりに関係することですから、ご関心が高いのだらうと思います。市議会への報告についてもきめ細かにお願いしたいと思います。

片平教育長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の報告事項の3点目でございますが、中間市いじめ問題対策連絡協議会の設置について、森課長説明をお願いします。</p>
森学校指導課長	<p>中間市いじめ問題対策連絡協議会の設置要綱は、本年度6月の定例教育委員会にてご報告させていただきました「中間市いじめ対策基本方針」に基づき、関係機関等との堅密な連携のための組織として設置する連絡協議会に係る設置要綱でございます。委員の構成については、第3条に示しておりますように、学校、児童相談所、法務局、警察及び本市こども未来課家庭児童相談室、それから教育委員会事務局の代表者としています。第1回の会議を1月25日に実施できるよう、準備を進めているところでございます。以上です。</p>
片平教育長	<p>ただいま説明がありましたが、それについてよろしいでしょうか。</p> <p>衛藤教育委員。</p>
衛藤教育委員	<p>中間市いじめ問題については6月の定例教育委員会の中で具体的な方向性が出されました。その時に、今後設置する機関としていじめ問題対策連絡協議会と、もう1つは中間市いじめ専門委員会というのを2つ設置するということでした。それで6月から半年ほど過ぎていますが、どうしてこの時期にこの連絡協議会を発足されるような形になったのか、何か状況的な変化が起こったのか、そういうものがありましたら教えていただきたいというのが1点です。</p> <p>それに関連して、県教委のいじめ問題連絡協議会を見ていると、県教委の考え方は、中間市いじめ問題対策連絡協議会というような形に特化しなくても良いというように書かれています。その中で、今ある生徒指導等の連絡協議会をこれに変えるということもして良いと書かれています。私は特化した方が良いと思っておりますが、改めて特化された理由が何かありましたら教えていただきたいです。</p>
片平教育長	<p>森課長。</p>
森学校指導課長	<p>まず1点目のなぜ今なのかというところでございます。まず、方針の改正につきましては、とにかく学校がいじめ問題に関して適切な行動を取れるように早期に策定する必要があると考えました。連絡協議会等の設置についても進めつつあったので、まずは方針を固め、報告さ</p>

せていただいたところです。

それから特に何か事案が起こったためにこれを設置するというのではなく、その後各方面と連絡を取りながら、そして情報を集めながら連絡協議会の設置に向けて準備を進めておりました。その際に、ちょうど7月から8月にかけてコロナの第5波が入ったために関係機関への訪問等が難しくなりました。そこで一時動きが止まったという部分もございます。本来ならば、10月、11月を目途にこの要綱のご報告と会議を行いたいと考えていたのですが、そのような状況により今に至ったというところでございます。

その中で、いじめに特化しなくてもというのは県の基本方針の中に記載があるのですが、こちらについては衛藤教育委員がおっしゃったように、いじめというのは未然防止の取組によって、実際にかなり防ぐことが可能である部分がございます。その為には、どのような体制整備を行うかということ、やはりいじめに特化して行うことが必要であると判断しましたので、学警連等、似た機関が参加する組織があるのですけれども、あえていじめに特化した組織を策定する必要だと考え設置に至っております。以上です。

衛藤教育委員

分かりました。それでは、設置要綱について質問させていただきます。第1条の「いじめ防止に対する機関や団体の連携を強化し」とありますが、機関は分かりませんが、中間市はどういう団体があるのかというのを私は理解しておりませんので、教えていただきたいというのが1点です。

それからもう1つは、連絡協議会は委員10人以内をもって組織するとあり、今7人ということですが、その中で、例えば臨床心理士とかそういう心理や福祉の専門家など、私はそのような方を専門家として入れるべきだと思います。そのような方をその他にくくらないで、専門家としてきちんと位置付けして、それ以外はその他の方というように整理された方が良いのではないかと思います。いかがでしょうか。

片平教育長

森課長。

森学校指導課長

まず1点目です。団体等とは何を指すのかということですが、そちらにつきましては、どの団体というものを想定しているものではございません。なぜ団体を入れたのかと申しますと、国のいじめ防止対策基

本法に団体という表記がございました。現在委員としてお願いしているところはこの示します機関になります。今後様々な事案や状況の変化によって必要が生じたときに、等として含んでも良かったのですが、法の方にも団体という表記がございましたので、そちらに合わせて今回表記を変えたところでございます。

それから2点目の第3条の組織について、心理や福祉の専門家は入らないのかというご意見ですけれども、衛藤教育委員がおっしゃるようにそのような専門家はもちろん必要になってくるかと思えます。まず今考えていますこの本連絡協議会については、関係機関等との連絡体制の整備、こちらが一番の目的でございます。そして、心理や福祉の専門家等については、実際に事案が発生した時などは、当然そちらからサポートを受ける必要、連携を取る必要があると考えております。そこで臨床心理士等の専門家については、専門委員会の方に入っていたいただきたいと考えて準備をしているところでございます。

衛藤教育委員

分かりました。

では最後になりますが、中間市いじめ専門委員会を今後つくる予定だということですので、いつどのような状況でいじめ問題について、この専門委員会が動かなければならない事態が起こるかもしれませんので、できるだけ早くつくっていただければ有難いと思えます。

森学校指導課長

おっしゃるとおりです。現在学校でも我々も含めていじめに関して重大事案とまでには至らないまでも、やはり気になる事案等がございますので、その都度スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の連携等は行ってきております。こちらは明文化しまして委員会として策定していきたいと考えております。

ありがとうございます。

片平教育長

いま説明がありました団体については、臨床心理士会などの団体がございます。そういったところをこの国が指しているところでございます。それに準じているというところでは、

それでは続きまして、その他に入ります。

その他ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、協議事項に入ります。

1点目、令和4年2月定例教育委員会の日程について説明をお願いします。

松永学校教育 課長	2月定例教育委員会の日程につきましては、2月1日火曜日午前10時を予定いたしております。ご協議をお願いいたします。
片平教育長	2月1日10時からということでしょうか。
教育委員	《了承》
片平教育長	それでは続きまして、令和3年度卒業式及び令和4年度の入学式出席者分担について松永課長お願いします。
松永学校教育 課長	令和3年度卒業式につきましては、小学校が3月17日、中学校が3月10日でございます。令和4年度の入学式は、小学校が4月12日、中学校が4月11日でございます。 卒業式及び入学式の教育委員様の出席分担の案を作成しましたので、委員の皆様のご都合につきましてご協議をお願いいたします。よろしく申し上げます。
片平教育長	入学式の出席分担についてでございますが、よろしいでしょうか。
衛藤教育委員	現時点ではこれで良いですけど、今のオミクロン株とか、そのような変化によっては状況がどうなるのか、また流動的な部分が含まれているということでしょうか。
松永学校教育 課長	昨年と同じように、最近コロナウイルスが拡大していますことから、出席者数や開催時間の制限など、今後感染防止対策を取ることが考えられます。昨年と同様に、卒業式や入学式までの間に実施要領の変更がある場合には、その都度ご連絡いたしますのでご了承をお願いします。
片平教育長	よろしいでしょうか。
教育委員	《了承》
片平教育長	それから後、入学式につきましては新任校長等ございますので、そういったところも併せて少し流動的になる可能性もあるところをお伝

えしておきたいと思います。

協議事項のその他について何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、議決事項でございます。

第1号議案 中間市いじめ問題対策協議会の委員の委嘱について森課長説明をお願いします。

森学校指導課長

先ほどご報告いたしました中間市いじめ問題対策連絡協議会の令和3年度の委員の委嘱について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条1項及び中間市教育委員会事務委任規則第2条第6号の規定により、委員名簿案のとおり議決を求めるものでございます。なお、先の要綱に基づき、委員の任期は令和4年3月31日までとなっております。よろしく願いいたします。

片平教育長

各関係機関から代表を出していただいているというところでございます。これでよろしいでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

これは確認ですが、第1回を1月25日にしたいという話でしたが、このいじめ専門委員会には年度当初及び年度末に開催することになっておりますが、今年の3月31日までにもう1回されるということでしょうか。

片平教育長

森課長。

森学校指導課長

本年度の場合は年度の当初に実施が出来ておりませんことから、今回お集まりいただいた中で趣旨説明をして、共通理解を図り、それから今年度の学校の取組や来年度に向けての課題等について協議をしたいと考えております。

これをもって、今年度については定例会としては1回のみと、来年度以降は要綱どおり2回行いたいと考えております。

片平教育長

他はよろしいでしょうか。

それでは、令和4年1月定例教育委員会をこれで終了いたします。

おつかれさまでした。

[閉会時刻：11時10分]

令和 4 年 3 月 2 日

教育委員 河本 直子

教育委員 太田加子